



にぎわい東北
— つなげよう、ふるさとのチカラ

2019年10月7日
イオン株式会社
イオンリテール株式会社
ミニストップ株式会社
イオンスーパーセンター株式会社
マックスバリュ南東北株式会社
イオンデモンストレーションサービス

相双地域の“馴染みの味” ほっき飯のお弁当・いなりをお届けします 小高産技高と共同開発した「ほっき飯ちらし弁当」「ほっき飯いなり」を販売

イオンは2019年10月、福島県立小高産業技術高等学校^{おだか}の生徒さまと共同で企画・開発した「ほっき飯ちらし弁当」「ほっき飯いなり」を、東北の「イオン」「ミニストップ」「イオンスーパーセンター」「ザ・ビッグ」等248店舗、ならびに東京都の「イオン」「イオンスタイル」9店舗、合計257店舗にて販売します。

本商品はイオンの東北応援「未来共創プログラム」^{※1}の一環として企画・開発された商品です。食材には南相馬市産のお米「天のつぶ」や、地域で親しまれている漬物「相馬きゅうり漬」などを使い、「ほっ」と心が安らぐような相双地域の“馴染みの味”を再現しています。

慣れ親しんだ味を再現した「ほっき飯」と、地域の産品を盛り込みました



ほっき飯ちらし弁当
1パック本体価格 498円
(税込価格 537円)^{※2}

「ほっき飯のちらし寿司」をメインに、付け合わせには「会津天宝味噌」使用の鶏むね肉味噌焼きや、地域産品の「相馬きゅうり漬」「いか人参」を盛り込んだお弁当です。



開発に携わった福島県立小高産業技術高等学校流通ビジネス科の生徒さま



ほっき飯いなり 3個入り
1パック本体価格 248円
(税込価格 267円)^{※2}

「ほっき飯」をいなりの皮で包んだ、甘くてやさしい味のいなりです。ほおぼるとほっきの食感と香りをご堪能いただけます。



お弁当の試食・開発風景

イオンは震災の復興支援事業を通じて、地域の皆さまとお客さまの心をつなぐ、さまざまな活動を行ってまいります。

【販売概要】

商品：「ほっき飯ちらし弁当」「ほっき飯いなり」の2品目

販売期間：2019年10月16日（水）～10月29日（火）^{※3}

販売店舗：福島県、宮城県の「イオン」「イオンスタイル」

青森県、岩手県、福島県、宮城県の「ミニストップ」

福島県の「イオンスーパーセンター」「ザ・ビッグ」

東京都の「イオン」「イオンスタイル」9店舗

計248店舗

※1：10年間継続して労使で取り組む東日本大震災復興支援「イオン 心をつなぐプロジェクト」事業の一つです。グループ各社の事業特性と被災地のニーズをマッチングして地域課題の解決に取り組む活動です。

※2：税込価格は単品で購入し、お持ち帰りをお選びいただいた場合の価格（税率8%の価格）を表記しています。

※3：ミニストップでの販売期間は、10月15日（火）～10月28日（月）となります。

東京都の「イオン」「イオンスタイル」での販売は、10月24日（木）～28日（月）の期間となります。

【本件に関するお問い合わせ先】

イオンリテール株式会社 経営企画本部 広報部 大瀧 電話：043-212-6501

ご参考

【イオン 心をつなぐプロジェクト×南相馬市 活動のご紹介】

【小高産業技術高校「東北被災地お弁当プロジェクト」】



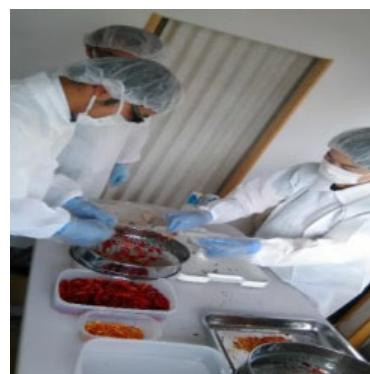
イオングループ4社と小高産業技術高校の高校生とのコラボレシピで開発したお弁当を、2017年より東北および都内で期間限定販売をしています。昨年度は、2018年10月に東北のイオングループ約240店舗で、2019年3月に都内10店舗での販売を行い、高校生2名による実演販売をイオン東雲店にて実施しました。東雲店では、用意したお弁当100個が昼過ぎに完売するほど好評でした。

【イオンリテール 「本棚チャリティプロジェクト」】



不要になった中古の本を回収するBOXをイオンリテール本社、ならびに各エリアの拠点や店舗に定期的に設置し、回収した本を「未来屋書店」のシステムを利用して買い取りした金額を、南相馬市および南相馬市社会福祉協議会に寄付しています。2017年3月から取り組みをはじめ、寄付金額は累計で70万円以上にのぼります。寄付したものは、6次産業化の商品開発支援や地域の交流事業などに役立てられています。

【イオン九州 地域のなりわい支援「とうがらしプロジェクト」】



2016年7月に避難指示解除となった南相馬市小高区。なりわい再生を目指し、地域のNPOの方々が鳥獣被害のない唐辛子栽培を進めています。2018年度はイオン九州が支援を表明し、自社の畑を借り、地元と打ち合わせを重ね、九州種唐辛子の苗植えから収穫・手作業での商品加工を進めています。南相馬市とも連携して、小高で加工された唐辛子商品を今秋から九州の店舗で販売予定です。

【「小高産業技術高校と熊本工業高校 合同演奏会」 開催場所：イオン熊本店】



熊本地震の翌年12月、小高産業技術高校の吹奏楽部11名が熊本を訪問しました。熊本工業高校で、同校の吹奏楽部の皆さまと合同練習で交流を深め、イオン熊本店で2校による合同演奏会を開催しました。演奏会後は店内にて福島県産品の販売会を実施。また、その翌日には益城テクノ仮設団地を訪問し、ミニコンサートを開催しました。

【イオンマーケットほかグループ11社による「あかりのファンタジーイルミネーション in おだか」への支援】



毎年11月に実施されている福島県南相馬市小高区「あかりのファンタジーイルミネーション in おだか」のイベント。2002年以降、冬の街を明るく彩るイベントとして親しまれていて、震災に伴う避難生活のなかでも、「仮設住宅イルミネーション」として取り組みを続けていました。

2015年には小高区での点灯式も再開され、2017年からはイオンマーケットほか、イオングループ11社が小高産業技術高校や地域のNPOと協力し、活動を盛り上げています。

【「小高千本桜プロジェクト」の桜の成長を見守り、街を美化するボランティア活動】



福島県南相馬市の小高区「小高千本桜プロジェクト」が3年前に植えた桜の木。今年の5月にボランティア隊が木の周りの除草作業を行いました。イオングループから定期的にボランティアが集い、街の美化活動などを行っています。